

## 船舶事故調査報告書

平成28年8月4日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）  
 委員 小須田 敏  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成28年4月11日 06時05分ごろ～18分ごろの間）
発生場所	熊本県上天草市萩島南西岸沖 唐網代鼻灯台から真方位261° 2.7海里（M）付近 （概位 北緯32° 22.2′ 東経130° 18.2′）
事故の概要	瀬渡船あかつき3号は、船長が落水し、死亡した。
事故調査の経過	平成28年4月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	瀬渡船 あかつき3号、3.5トン KM3-52048（漁船登録番号）、有限会社だいわ観光 11.58m（Lr）×2.39m×0.83m、FRP ディーゼル機関、209kW、昭和51年12月15日 第293-4755号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長 男性 47歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成5年6月17日 免許証交付日 平成24年6月28日 （平成30年6月16日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、釣り客7人を乗せ、瀬渡し業の目的で、熊本県上天草市大道漁港池之浦地区から出航し、萩島周辺海域に向かった。 本船は、船長が、釣り客6人を磯、筏等に瀬渡しした後、萩島南西岸沖で本船から手漕ぎボートを降ろして釣り客1人（以下「釣り客A」という。）を移乗させ、係船ブイの近くまでえい航したのち、平成28年4月11日06時05分ごろえい航索を離した。 釣り客Aは、手漕ぎボートを漕ぎ出してすぐに本船が同ボートを追

	<p>い越して行くのを認めた。</p> <p>釣り客Aは、係船ブイに手漕ぎボートを係留した後、周囲を見渡したところ、06時10分ごろ、本船が、後進でゆっくりと旋回しながら近づいて来るのを認め、2回目の旋回時に手漕ぎボートと衝突しそうになったので、本船に移った。</p> <p>釣り客Aは、船内に船長がいなかったため、機関を中立運転とした後、06時18分ごろ118番通報した。</p> <p>本船は、僚船によりえい航されて帰港した。</p> <p>船長は、4月13日08時40分ごろ萩島南西岸沖の係船ブイから約100m陸岸寄りの海中で発見され、溺死と検案された。</p> <p>(付図1 事故発生場所概略図、写真1 本船等の状況 参照)</p>
その他の事項	<p>釣り客Aは、本船に移った際、主機のクラッチが後進の位置に、スロットルレバーが低速の位置にそれぞれあることを確認した。</p> <p>船長が着用していた自動膨張式救命胴衣は、発見された際、膨張装置が作動していなかった。</p> <p>船長は、持病があり、通院して治療を受けていた。</p>
分析	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p> <p>不明 不明 不明</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、萩島南西岸沖の係船ブイ付近で、平成28年4月11日06時05分ごろ船長が釣り客Aの乗船した手漕ぎボートのえい航索を離した後、06時18分ごろ無人であることが確認されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられる。</p> <p>船長は、主機のクラッチを後進とした後、落水したものと考えられるが、落水及び溺水に至った状況は、明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、萩島南西岸沖において、船長が、主機のクラッチを後進とした後、落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等による被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動膨張式救命胴衣の着用が望ましい。</li> </ul>

付図1 事故発生場所概略図

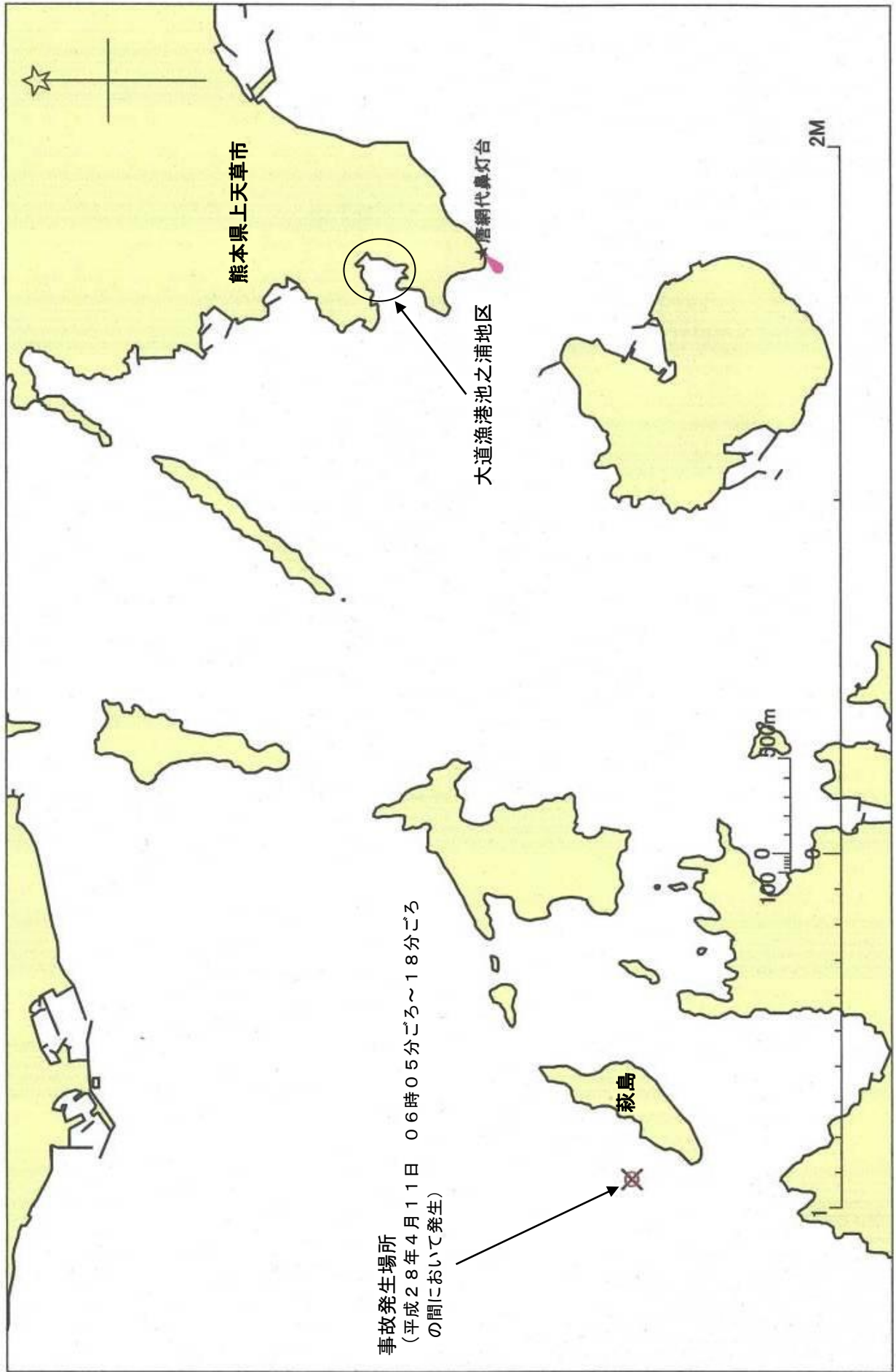


写真1 本船等の状況



本船

手漕ぎボート